





## 6. 20. 2 予測

### 6. 20. 2. 1 工事の実施

#### (1) 予測の概要

工事の実施に伴い、護岸の工事及び埋立ての工事、更に造成等の施工による一時的な影響として、土地の改変による景観資源等の消失、水の濁り及び作業ヤード・仮設道路等の設置に伴う主要な眺望景観の状況の変化が考えられることから、その変化の程度を予測しました。景観の予測概要は、表-6. 20. 2. 1. 1に示すとおりです。

表-6. 20. 2. 1. 1 景観に係る予測の概要（工事の実施）

項目	内容
予測項目	主要な眺望点及び視点場の状況 景観資源の状況 主要な眺望景観の状況 車窓景観の状況
影響要因	・ 公有水面の埋立 護岸の工事 埋立ての工事 ・ 飛行場及びその施設の設置 造成等の施工による一時的な影響
予測地域	調査地域のうち、可視不可視領域の解析結果から、主要な眺望点及び視点場、景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域としました。
予測対象時期等	景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び視点場、景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を的確に把握できる時期として、工事中において、景観に係る影響を的確に把握できる時期としました。
予測の手法	・ 主要な眺望点及び視点場の状況、景観資源の状況 主要な眺望点及び景観資源の分布と事業実施区域との重ね合わせにより、場の改変の程度を予測しました。 ・ 主要な眺望景観の状況 予測・評価の対象として選定した主要な眺望景観の視覚的変化を、フォトモンタージュ、透視図による予測画像を作成し、現況と比較することにより推定。また、土砂による水の濁りの予測結果を踏まえ、眺めの状況の変化を定性的に予測しました。 ・ 車窓景観の状況 予測・評価の対象として選定した主要な車窓景観の視覚的変化を、フォトモンタージュによる予測画像を作成し、現況と比較することにより推定しました。